

ヨシナカ新聞

5月号

発行所

（株）北陸ヨシナカ

東京営業所

TEL: 03-3555-0796

バナナが黒くならない保管方法

バナナは時間が経つと黒く変色してしまいます。保管方法といえば、吊るしたり、アーチの部分が上に向くように置いたりなど、さまざまな方法言われていますが、長持ちさせる保管方法



はどうすれば良いのでしょうか。まずは冷蔵保存。バナナをはじめとする南国のフルーツは冷蔵庫に入れると低温障害で皮が黒くなりますが、変わるのは皮の色だけで、中身は常温よりも遥かに長持ちするそうです。

さらに、冷蔵庫に入れても低温障害で皮が黒くなるのを防ぐ方法があります。それはバナナを房から1本ずつ切り離しラップを巻くだけ。ビニール袋でもOKで、冷蔵庫の冷気がバナナに直接当たらないようにするだけで、かなり長持ちするそうです。

言葉の区切り

「ヘリコプター」という単語の中に区切りを入れるとしたら多分、「ヘリ」と「コプター」

に区切ってしてしまうと思いますが、ヘリコプターはギリシア語で「らせん」を意味する「helic」または「helix」と、

「翼」を意味する「opter」または「pteron」を組み合わせた語なので、区切りを入れるとしたら「ヘリコ・プター」

清・少納言	「清原」という姓と「少納言」という官職名からとったペンネーム。
キリマ・ンジャロ	スワヒリ語で「山」を意味する「kilima」と「輝く」という意味の「njaru」の組み合わせ
登・竜門	「竜門」という中国黄河の急流が由来
三・半規管	3つの「半規管」の総称
カ・メハメハ	ハワイ語で、「Ka(カ) = その」「mehameha(メハメハ) = 孤独な、寂しい」
五里霧・中	中国に五里四方に霧をおこす「五里霧」という術を持っていた人がいた。
張本・人	張本→物事を根本から張りめぐらす、物事を周到に準備する、伏線を張る、から。
無・礼講	神様にお酒を捧げて、その後、参加者の身分の上の者から捧げたお酒をいただく「礼講」という儀式から。

が正しい場所ということになるそうです。

ヘリコプターの他にも区切りがおかしいのでは？と思えるのをピックアップしてみました。私自身、合ってたのは清少納言だけで、他は全て

ブラックホール

2019年4月10日、研究チームは世界6か所で同時に行われた記者会見において、巨大ブラックホールとその影の存在を初めて画像で直接証明することに成功したことを発表しました。今回撮影されたのは、おとめ座銀河団の楕円銀河M87の中心に位置する巨大ブラックホールで、地球から5500万光年の距離にあり、その質量は太陽の65億倍にも及ぶそうです。

そもそもブラックホールとは何でしょうか。私の中では、黒い穴があって、そこに吸い込まれると絶対抜け出せないというイメージだったのですが、実際にはブラックホールは天体(星)なのだそうです。

ブラックホールは、重力と圧力が釣り合っていない、重力が強すぎてバランスを崩した天体で、これによりブラックホール全体が徐々に縮んでいき、きわめて高密度かつ大質量でありながら巨大な重力を保っています。中心部分は漆黒の円のようになっていて、ここでは特に強力な重力が存在しているため、光すらも吸い込まれてしまい、脱出は不可能です。

もともとは「コラプサー（崩壊した星）」と呼ばれていましたが、1967年にアメリカの物理学者であるジョン・ホイーラーが、観測上黒く見えることから「ブラックホール」と名付けました。

それではブラックホールに吸い込まれた物はどこへ行ってしまうのでしょうか。ブラックホールは吸い込んだものを絶対外に出さないで、吸い込むたびにどんどん重くなって太っていきますが、光すら出られないので、中のことは一切分からず、今の研究者達は中のことは諦めているようです。

ただ、たぶん中に吸いこまれたものは、重力に引き付けられて真ん中の1点につぶれてしまっている(特異点)のではと推測しているようですが、密度も無限大になっているブラックホールは、現在の物理法則が全部成り立つかどうかさえ分からないのが現状のようです。

炭素鋼の焼き入れ温度

炭素鋼は、鉄(Fe)と炭素(C)の合金です。炭素鋼は炭素量が2%程度以下の場合となります。それ以上の炭素量を含む場合には铸铁(Cast iron)と呼ばれています。

炭素鋼の炭素含有量によって、強度や焼き入れ性が大きく左右されます。炭素含有量が多いほど、一般に強度

は強くなり、焼き入れした場合の硬度も高くなります。

鉄鋼材料を常温から加熱していくと組織変化がおこり、その組織変化を「変態」と言い、変態する温度を「変態点」といいますが、炭素鋼の変態点にはA1変態点からA4変態点まであります。

A1変態点は オーステナイトからフェ

ライト+セメンタイト(Fe₃C)への変態が開始する温度で、炭素量には関係なく平衡状態では727℃一定です。焼き入れをするためには原則として727℃以上の温度から急冷しないと硬度が上がりません。例えば、500℃に加熱した炭素鋼を急冷しても絶対に焼き入れはされないで、硬度も上がりません。